JA京都市広報誌 | Public Relations JA KYOTOCITY

2023 1

No.276

いっぷく

ひととひと
ふれあい、つながる

特集

京ベジFESTA2022 ～秋の大感謝祭～開催

「ほんまもん京野菜と都市農業の魅力発信」

新年のごあいさつ 2
特集 京ベジFESTA2022 ～秋の大感謝祭～ 3～5
「ほんまもん京野菜と都市農業の魅力発信」
2022年度秋季農産物品評会開催 特別賞受賞農産物紹介 6
寺林審査長による審査講評 8
京のかわら版 9
女性部だより 10
各地で品評会・即売会を開催 11
営農経済部からのお知らせ 12
ハダニとその防除法について
2022年度 上半期の事業取組報告 13
営農経済部からのお知らせ 14
肥料価格高騰対策のご案内
1・2・3月の行事予定
ちょっといっぷく 15
クロスワードパズル／今月の星占い
京のこんだて 裏表紙
菊菜と豆腐のうま煮

新年のごあいさつ

代表理事組合長 戸田 秀司

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、ご健勝のうちに新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、日頃よりJA京都市の事業運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年を振り返りますと、コロナワクチンの接種が進み、またその治療薬も開発され、これまで蓄積したエビデンスや経験に基づき行動制限は行わず、新型コロナ対策と社会経済活動の両立を図る方向性が示されました。

その様な中、当JAにおきましても、コロナ禍だから敬遠するので無く、様々な対策を講じながら、農業の発展と組合員利用者との繋がり強化に向けた取り組みを行いました。そのひとつが昨年11月19日に開催した京ベジFESTA2022です。今回で第8回目となった当イベントでは、昨年度より規模を拡大し、「見る・触れる・味わう」を通じて農業の魅力を発信しました。

もうひとつが第3号組合員向け広報誌「Link」の創刊です。この「Link」では、都市農業の魅力や京都市の農業の特徴を歴史や文化的側面から幅広い世代に発信し、地域利用者への農業理解を深める新たなツールとして広め、生産者である農業者と消費者である地域住民との橋渡し役を務めてまいります。

一方、懸念することとしまして、昨年の2月に勃発したロシアのウクライナへの侵攻が今も続いていることです。多くの人命が危険な状態に晒されていることに胸が痛みます。また、このことは経済循環にも大きく影響を与えています。そして、世界の工場と呼ばれている中国でのゼロコロナ対策の余波もあり、グローバル・サプライチェーンが回らず物価高騰を招き、世界的なインフレを誘発しています。こうした情勢により、社会的・経済的不安が一層深刻さを増しています。特に危惧することは、人の命に繋がる農産物の安定供給がままならない状態に陥らないかということです。世界平和を前提にした政策から食料の多くを海外に依存してきたわが国にとって、このことはまさに非常事態と言えます。さらに、日本では少子化が進んでいますが世界的に見れば人口爆発状態にあり、改めて国内農業の担っている役割（生命産業）が重要性を帯びてきています。

こうした状況を捉え、JAグループでは「国消国産」という考え方を示しました。これは、国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産しようとする意思表明です。輸入は途上国の食料を奪う可能性があり、間接的に飢餓を生み出すことにつながりかねません。また、昨今の平和を脅かす紛争が拡がれば、現況の低い食料自給率のままでは国の安全保障につながりません。このような状況に対し、「国消国産」の考え方やそれに基づく取り組みは、国の安全保障のみならず、持続可能な開発目標（SDGs）の達成にもつながります。

混迷を深める時代感から生まれたSDGsの理念は、互いの多様性を認めその結びつきを深めながら豊かな社会、よりよい環境を築いて行こうとする理念で、JAの理念に通じています。世界標準となった理念・SDGsを踏まえつつ、我々は、持続可能な農業の未来を築くために、改めて当JAの自己改革テーマである「歴史ある地域社会との豊かな共生を～農と食から～」を大きく掲げ、JAに求められる役割発揮を着実に進めてまいります。

新年を迎え、組合員・地域住民の皆様に、総合的経済機関の使命を担うJAとしてこれからも貢献できるよう、行政との連携を図りながら、役職員一同、努力をしてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、組合員並びにご家族皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

特集

秋晴れのなか、約1万人が来場！

京ベジFESTA2022～秋の大感謝祭～

「ほんまもん京野菜と都市農業の魅力発信」

「大感謝祭」の時代から数えて8回目の開催となった「京ベジFESTA2022～秋の大感謝祭～」。
今回は地元野菜の販売や品評会で特別賞を受賞した農産物の展示をはじめ「見る・触れる・味わう」を通じ、
「ほんまもん京野菜と都市農業の魅力発信」に取り組みました。
また、連合会や大学からも参加いただき、
イベントを盛り上げていただきました。
当日は約1万人のご来場があり、外国人観光客や着物姿の方など
観光都市京都らしい光景が広がり、京都市内に息づく都市農業の役割と
それを支えるJAの役割を発信することができました。
今回は各ブースと会場の様子をご紹介いたします。

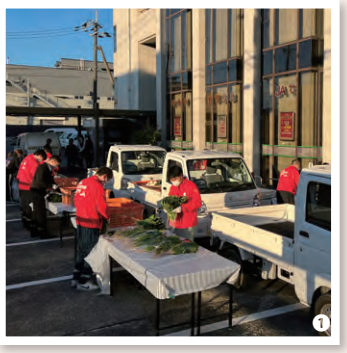
1 「京ベジマルシェ」

品評会出品野菜をはじめ約5000点を販売

「京ベジマルシェ」では、地産地消に繋げようと秋季農産物品評会で出品された農産物や管内で生産された農産物を販売しました。

品評会の出品物についてはイベント前日に袋詰め作業を行いました。(①)

ブース付近にはイベント開始前から長蛇の列ができ、準備した約5000点の農産物は完売しました。



2 生産者が丹精込めて育てた農産物を展示

秋季農産物品評会 特別賞受賞野菜展示

秋季農産物品評会で特別賞を受賞した農産物18点を展示し、「ほんまもん京野菜」の魅力を伝えました。展示された農産物は来場者から多くの注目を集めました。

食を「味わう」ブース

京ベジぐるめ

ブースには人気のキッチンカー11台が集結し、「食」の魅力を発信!

11/19 SAT

～秋の大感謝祭～

「触れる」「味わう」ブースを展開～

3 「みんなの京香さん」などイベントを盛り上げる！

ステージイベント

10:00～ 開会式/挨拶

戸田組合長の挨拶でスタートしたステージイベント。
門川大作京都市長にもお越しいただき、農業の役割についてお話しいただきました。

10:30～ 第3号組合員向け広報誌「Link」PR

KBS京都「Sunny time」の生中継で会場の熱気や第3号組合員向け広報誌「Link」について視聴者に紹介しました。

11:30～「みんなの京香さん」披露!

歌手の平野翔子さんを招き、イベントを盛り上げていただきました。抜群の歌唱力に会場は大きな拍手に包まれました。

平野翔子さんからメッセージ

生まれ育った京都の街、慣れ親しんだ梅小路公園のステージで歌えてとてもありがたかったです。最高のお天気の中、笑顔と手拍子で参加してもらえて嬉しかったです!これからもっともっと"みんなの"京香さんになってくれるといいなと思います!

12:00～ 全農京都「みのりカフェ」「みのるダイニング」PR
13:00～「京ベジ抽選会」

JA全農「みのるダイニング」・「みのりカフェ」のPRや京の肉など豪華賞品が当たる「京ベジ抽選会」を実施しました。

4 「青壮年部・女性部・「GAP」・「Link」PRブース」

女性部ブース

「ちゃぐりんフェスタ」で収穫したサツマイモと女性部員手作りのこだわりの小物を販売しました。

青壮年部ブース

JA東京あおばから取り寄せた練馬大根と加工品の販売をはじめ、青壮年部の思いが詰まった「ほんまもん京野菜は俺達に任せろ!」の看板を設置しました。

「GAP」・「Link」PRブース

消費者へ制度を周知するため、チラシと冊子を配布しました。

梅小路公園に約１万人が来場

京ベジFESTA2022

～市内農業の魅力発信に向けて、「見る」

5 JA各事業をPR 「連合会ブース」

共済連

自動車安全啓発活動事業として「すまいる号」を設置しました。アンパンマンガチャガチャも設置し、事業PRをしました。

信連

JAキッズマネースクールと題し、オリジナル貯金箱づくりを実施しました。多数のお子様連れに参加いただきました。

全農

亀岡牛コロッケや宇治茶の販売やJAでんきの理解に繋げるためのアンケートを実施しました。また、農機具展示・乗車コーナーはお子様の人気の的となりました。

「団体ブース」

京都市花き生産者連絡協議会

花苗、ハーブ苗、ミニ盆栽を販売しました。ブースは彩り豊かな花々に囲まれました。

京都先端科学大学

包括連携協定を結ぶ同大学からも出品いただき、鹿カツや学生が作った野菜を販売しました。

2022年度秋季農産物品評会開催

～平安神宮額殿で830点の農産物を審査～

11月18日、2022年度秋季農産物品評会を平安神宮で開きました。
今年度は管内生産者より830点の農産物を出品いただき、その出来栄えを競いました。
京都府知事賞にはねぎを出品されました太秦支部の青山裕司さんが受賞されました。
そのほか、受賞者につきましては次ページをご覧ください。

写真で振り返る秋季農産物品評会

【JA京都市　秋季農産物品評会　特別賞（敬称略）】

（※はJA京都市版GAP承認取得者）

京都市農業委員会長賞

はくさい
大橋加津子（上鳥羽）

京都市産業観光局長賞

長だいこん
音川次清（修学院）

京都市長賞

キャベツ
長谷川重二（吉祥院）

京都府知事賞

ねぎ
青山裕司（太秦）

京都府農協中央会長賞

小かぶ
樋口豪宏（大宮）

平安神宮賞

みず菜
柴田恭宏（上鳥羽）

京文化担い手奨励賞

冨有柿
平井浩治（大枝）

京都市農業振興協議会長賞

中かぶ
奥田猛（深草）

京都野菜卸売協同組合賞

サニーレタス
十塚元信（大宮）

全共連京都府本部長賞

赤かぶ
加納裕子（太秦）

京都府信連会長賞

金時にんじん
安田博勝（川岡）

全農京都府本部長賞

ほうれんそう
中島秀典（修学院）

審査長賞

みずき菜
小野田逸郎（深草）

(株)農協観光京都支店長賞

ゆず
松尾季行（嵯峨北部）

京都市農林振興室長賞

冨有柿
山本純弘（大枝）

京都府農協青壮年組織協議会委員長賞

小松菜
山田稔（嵯峨）

青壮年部長賞

堀川ごぼう
藤木清（大宮）

新規就農新人賞

玄米
山口陽平（川岡）

2022年秋季農産物品評会 審査結果について

■審査長：摂南大学農学部　寺林敏教授
■出品点数：830点
■特別賞：18点
■1等：25点　■2等：55点
■3等：120点

秋季農産物品評会　寺林審査長による審査講評

特別賞を前に寺林審査長から、選出理由や思い出話などが語られました。

審査講評

摂南大学農学部　寺林敏教授

今回の品評会においては、「参加することに意義がある」というものでは無く良い物が揃っていました。また、立派な物を作られる生産者が多くおられることに感心しました。

知事賞に選んだ九条ねぎは、これだけきれいに揃って結束も上手にできる人は少ないと思います。京野菜であり見栄えがとても良かったことから、この九条ねぎを選びました。

京都市長賞のキャベツですが、今年のキャベツの出品は少なく全体的に小ぶりでした。そのような中で、見た目だけでは分からない葉の締まりと重さを確認し審査要件を満たした良質な物を選びました。

次に大根ですが、キスジノミハムシが出ると肌が荒れますが、そうでは無く先の方が荒れていたりへこんでいたりしていた物が多くあり気になりました。しかし、選んだ大根は3本ともが綺麗であり揃っていました。

白菜は結構多く出品があり選ぶのに苦労しましたが、結球状態も良く葉の傷みも無く、締まりも良いところを評価しました。

中カブですが、出品基準は中かぶが5株で、小カブでは10株です。5株、10株程度と思われるかもしれませんが、良い物をこの数を揃える事は大変難しいです。そういう意味で、選んだものは綺麗に揃えられていると思います。また、見せ方として結束も上手に出来ていることも評価の基準としました。

柿ですが、京都市では西京に冨有柿の大産地があり、さすがに素晴らしいものが出されておりました。

水菜ですが、私は品評会の時しかこのような大株の水菜を見ないので、楽しみにしています。昨年も水菜の入賞があったと思いますが、白い葉柄の上がりが綺麗で緑色の部分とのコントラストが良く、葉の傷みも少なくとても良い水菜の大株を作られていると感心しました。

ほうれん草は多く出品されており審査に悩みました。結束・色合い・葉の傷みなど確認しました。また、重さも基準に合っているか厳密に計量して決定いたしました。

人参ですが、今の若い人は金時人参を知りません。人参と言えばキャロットしか食べたことが無いようです。私は授業で金時人参の話をしますが、東洋系の人参、西洋系の人参などの歴史を話します。日本にとってはお正月の行事に欠かせない野菜です。選んだ金時人参は、非常に揃いも良く綺麗であると評価しました。

赤かぶですが、筋が出たり、波打っていたり肌の悪い物は外させていただきましたが、選ばせてもらった赤かぶは色も良く出ており良いかぶでした。

サニーレタスですが選ばせてもらったものは葉のつまりがしっかりしており、とても良い物でした。

小松菜も多く出ていました。重さの確認と揃いを確認しました。葉柄から葉にかけての色合いを確認しました。

柚子ですが、今年は出来が良くないと聞いていましたが、これほどの良いものを出してもらっている事はそれだけの技量があってのことと素晴らしいと感心しました。

審査長賞には、みずき菜を選びました。この名前を初めて聞かれた方も多いと思いますが、私の前任で審査長をされていた矢澤進先生が、今年春にお亡くなりになられました。その先生が京都市内の野菜の振興に向けて、新しい野菜作りにご尽力され精魂込めて作りあげられた作物です。今回出品されたものは、非常に良いものが出されていましたので審査長賞にさせてもらいました。みずき菜を売っているのを見られたらぜひ買って食べて下さい。そのことで生産が広がれば矢澤先生もお喜びになられると思います。

新規就農新人賞ですが、新規就農をしていただかないと京都市の農業が衰退して行く可能性もあり懸念しています。新規就農での作物は施設園芸をされる方が圧倒的に多い中で、米作りもされ良い米を作っておられる事は心強いと思いました。

青壮年部長賞の堀川ごぼうですが、品評会で多くの堀川ごぼうを見ていますが、これだけ長い物で根の先の部分まできれいに掘り出されているのは素晴らしく、相当神経を使って掘り出されたと思います。太い部分も美味しいですが、先の細い部分もとても美味しいです。

今年は野菜作りに適した天候であったかわかりにくい年ですが、ここ最近は暖かくどんどん生育していると思います。また、ある時期は暑すぎで、播種時期にうまく播種できず、播き直した方もたくさんおられたと聞いております。

そのような環境や農薬等も使用制限がある中で良い物を作られており、日ごろの管理をしっかりされていることに敬意を表します。

京のかわら版

JA京都市管内の出来事や
イベントなどをお知らせいたします。

農薬肥料説明会開催

山科南部支店は10月28日、勧修寺観光農園でブドウ栽培に関する農薬肥料説明会を開きました。

説明会には生産者22名が出席し、肥料や農薬の説明だけではなく、賠償責任保険や収入保険の話など多岐にわたりました。

参加者は「作物を作る環境が変わり害虫や病気等、育てていく中で何が一番適しているかを聞き取り、今後のブドウ作りに活かしたい」と話していました。

▲真剣に説明を聞く参加者

特産「すぐき漬け」の季節が今年もやってきた！
～すぐき神輿と天秤は期間限定で展示～

京の上賀茂すぐき倶楽部は10月26日にすぐき神輿及び天秤の設置作業を行い上賀茂神社境内で展示しました。

なお、同倶楽部が毎年実施してきた「すぐき道中」はコロナ禍のため見送ることになり、12月4日に同倶楽部役員によって初物の「すぐき漬け」が奉納されました。

▲すぐき神輿の設置作業の様子

地元のこども達に土に触れる体験を

醍醐支部の山本勉さんは10月26日に端山の丘こども園の園児90名を迎え、サツマイモ掘り体験を開きました。

父親から農業を引き継ぎ5年前に就農した山本さんは、子供たちの健やかな成長に繋げようと食農教育に力を注いでいます。

園児たちの笑顔を見守りながら山本さんは「幼い頃から土に触れたり野菜を収穫することが、農業の理解に繋がると思うので、これからも続けていきたい」と話していました。

▲園児からの質問に答える山本勉さん

稲刈り作業の後は稲こき

上高野小学校で10月21日、食育授業が開かれ、修学院支部の清水正次さんをはじめ地域の生産者が講師を務めました。

授業には同校の2年生と5年生の総勢97名が参加し、生産者は鎌の使い方や稲こき作業を指導しました。

清水さんは「農業を体験することでお米の大切さを知ってもらえたらうれしい」と話していました。

▲生産者の指導を受け、稲こきを体験する児童

女性部だより

「ちゃぐりんフェスタ」～子供たちとさつまいも掘りなどイベント開催～

10月30日、女性部は食農教育の場として、綾部市の圃場で「ちゃぐりんフェスタ」に取り組みました。これは子供たちが野菜に触れることで、食と農への理解を深めることを目的に開催するイベントで、今回管内の小学生の親子連れ22名が参加しました。

とっても大きなさつまいもが採れました！！

当日は京都野菜耕房・藤田正さん指導のもと、さつまいも掘り体験を行いました。子供たちはゴロゴロと太くなったさつまいもを掘り起こし、「こんなに大きい芋が掘れた。全部持って帰る!」と満面の笑顔でした。

午後からは『ちゃぐりん』を活用したクイズ大会を行い、米や野菜に関するクイズで盛り上がりました。保護者からは「なかなか日頃できない体験で、とても楽しかった。掘ったさつまいもを子どもと一緒に食べるのが楽しみ」と笑顔でした。

さつまいもを収穫したあとは
クイズ大会で野菜について学びました

秋の宇治堪能
～３年ぶりの研修旅行～

嵯峨支部女性部は10月20日に研修旅行として宇治市を尋ねました。今回は新型コロナウイルスの影響もあり3年ぶりの開催となり、部員18名が参加しました。

部員は平等院鳳凰堂や萬福寺など宇治市内の名所旧跡を満喫されました。最後に、普茶料理に舌鼓をうつなどリフレッシュしました。

永井明子女性部長は「少しずつ季節も秋になり涼しくなって行動しやすくなってきた。久しぶりに集まった女性部員たちが和気あいあいと今後の活動に向けて親睦を深められて、とてもいい研修旅行になった」と話しました。

萬福寺での
見学の様子

久しぶりの
研修旅行で
リフレッシュ

タオルドレス作り教室開催

上鳥羽支部女性部は11月15日に手芸教室を開催しました。今回は「家の光11月号」掲載のタオルドレス作りに取り組み、部員7名が参加しました。

講師は女性部長の田中美由紀さんと副部長の田中奈保美さんが務め、約2時間かけてタオルドレスを作成しました。

部長の田中美由紀さんは「細かい作業で無言になることもあったが、部員同士でお互い助け合いながら楽しくできた。お孫さんにプレゼントするという方もおられ、開催してよかった」と振り返りました。

完成した
作品を手に
記念撮影

作業に取り組む
部員たち

各地で 品評会・即売会を開催

11月から12月にかけて、管内各地で品評会・即売会が行われました。
各イベントには地元野菜を求める大勢の方が来場されました。
イベントの様子を写真で紹介いたします。

❶11/6	深草支部農産物品評会（藤森神社）
❷11/17	あつまれ！醍醐ええもんマルシェ（醍醐和泉バス停向かい側）
❸11/25	京都市左京区農産物共進会（下鴨神社）
❹11/25	上鳥羽軽トラック市（上鳥羽支店）
❺11/27	野菜と花の即売会（北町集会所）
❻11/29	深草マルシェ（藤森神社）
❼12/1	大宮支部品評会（大宮小学校）
❽12/2	大宮軽トラック市（大宮支店）
❾12/3	嵯峨野4支部合同農産物品評会・即売会（嵯峨野支店）
❿12/3	西京農業まつり（松尾大社）
⓫12/9	修学院支部マルシェ（修学院支店）
⓬12/9	山科北部農業祭・品評会（山科北部支店駐車場）
⓭12/13	丸吉青果商店即売会（吉祥院支店）
⓮12/17	醍醐農業まつり&あつまれ!醍醐ええもんマルシェ（伏見区役所醍醐支所）

❶ 深草支部の生産者から167点の農産物が出品！ほうれんそうを出品された辻井永雄さんが京都市長賞を受賞！

❷ 醍醐支店主催のイベント！当日限定で大枝特産の「富有柿」を販売しました。

❸ 下鴨神社「糺の森」にて3年ぶりの開催。左京区の生産者が丹精込めて栽培した農産物208点が出品！京都府知事賞には、長だいこんを出品された音川次清さんが受賞されました。

❹ 約600点の野菜を軽トラックに載せて販売！黒糖ドーナツ棒などの自然派食品を販売する生活市も開催し、支店には大勢の来場者にお越しいただきました。

❺ 都市農業のPRを目指して16回目の開催！野菜と花の販売をはじめ地元小学校での食農教育授業などの支部活動をパネルで紹介！

❻ あいにくの雨の中での開催となりましたが、大勢の方が地元野菜を求めて来場されました。

❼ 大宮支部生産者の栽培技術向上を目的に、390点の農産物が出品！中かぶを出品された水澤琢哉さんが京都市長賞を受賞！！また、大宮小学校の食育授業の場としても活用されました。

❽ 品評会出品野菜を箱詰めにして販売！特別賞は軽トラックに載せてPRしました。

❾ 嵯峨・嵯峨北部・太秦・花園、4支部合同での初の品評会。当日は298点の農産物が出品されました。小松菜を出品された山田耕司さんが京都市長賞を受賞されました！！

❿ 松尾・桂・川岡・大枝の4支部が出品！農産物の販売や新米のお米すくいゲームなどに取り組まれました。

⓫ だいこんやねぎをはじめ冬野菜や女性部手作りの「もんぺ」などを販売。開催に向けてポスター掲示などの情報発信の効果もあり、開始時刻になると、大勢の地域住民が会場に集まりました。

⓬ コロナ禍で3年ぶりの開催！会場には開催を待ち望んだ地域住民が見られました。同日開催となった品評会では、だいこんを出品された宇佐美泰人さんが京都市長賞を受賞されました。

⓭ 支店近くに幼稚園もあることから主婦層の姿が見られました。また昨年より品目が増え、野菜だけでなくレモンなど柑橘類を販売しました。

⓮ 月に一度開催する「あつまれ!醍醐ええもんマルシェ」。今回は場所を移しての開催となり、野菜販売だけでなく、醍醐支部が長年取り組む「米すくいゲーム」やフリーマーケットやコットンフラワーリース作り体験を実施しました。

営農経済部からのお知らせ

ハダニとその防除法について

営農支援課　TAC
堀井　崇史

ハダニ類は、アブラムシ類やアザミウマ類と並び、ほとんどの作物に被害をもたらすため、多くの農家を悩ませる代表的な害虫です。

ハダニは増殖率が高く、防除が難しい害虫です。1匹入り込んだハダニをほったらかしにしてしまうと、ハダニがどんどん増えて収量が減ってしまいます。被害がはっきり分かるのは時間が経ってからなので、**早めの対策が必要です**!

1. 主なハダニの種類

ナミハダニ
多くの作物に寄生し、
薬剤抵抗性の発達も早い

カンザワハダニ
赤色が特徴のダニで、
多くの作物に寄生する

ミカンハダニ
主にカンキツに寄生し、特に
施設栽培で大きな被害となる

2. 防除の考え方

ハダニ類の被害を予防するためには、早い時期からの農薬による防除が非常に有効です。
ハダニ類は世代交代のサイクルが短く、薬剤に対する抵抗性が発達しやすいため、同一系統の農薬の連続使用を避けることがポイントです。効果的にハダニ類の発生を抑えるには、新しい系統の農薬もチェックするとよいでしょう。
栽培初期や**定期散布**には、殺卵性・残効性が高く、かつ、訪花昆虫やカブリダニなどの天敵に影響が少ない農薬を選びましょう。大量発生してしまった場合は、幼虫・成虫に対して効果が高く、即効性のある農薬を選びましょう。

◇主要殺ダニ剤の特性一覧

IRACコード	薬剤名	殺卵力	殺成虫力	残効	速効性	サビダニへの効果	ハダニ類等 主要登録作物 ナス	キュウリ	イチゴ	スイカ	カキ	ブドウ	※バンカーシート影響 ミヤコ	スワル
6	コロマイト水和剤	○	◎	中	速	◎	○	○	○	○		○	B	C1
10B	バロックフロアブル	◎	×	長	遅	△	○	○	○	○		○	B	A
20D	マイトコーネフロアブル	△	◎	中	速	○	○	○	○		○	○	A'	B
21A	サンマイトフロアブル	◎	◎	長	速	◎		○	○	○			C1	B
	ダニトロンフロアブル	◎	◎	長	速	◎	○	○	○	○			B	B
25A	ダニサラバフロアブル	◎	◎	長	速	△	○	○	○	○	○	○	A	A
	スターマイトフロアブル	◎	◎	中	速	△	○	○	○	○	○	○	A	A
25B	タニコングフロアブル	○	◎	長	速	×	○		○			○	A	A
33	ダニオーテフロアブル	◎	◎	長	速	×	○		○	○			A	A

※使用時期は薬剤によって異なるため、ラベルを必ずご確認ください。

※バンカーシート影響

A	天敵に影響が少ない剤。　いつでもバンカーシートとの併用が可	
A'	天敵に若干影響あり(物理的、忌避効果等)	
B	やや影響がある剤。	設置前または、設置2週間以内(**ミヤコ**)、設置1週間以内(**スワル**)であれば 併用可
C1	天敵に影響がある剤。	設置1週間前まで使用可能

殺卵性・残効性が高い剤

10B バロックフロアブル

- 速効性に欠けますが、殺卵、殺幼若虫効果が長続きするのでハダニの増殖を1ヶ月以上抑えます。
- 本剤を成虫に散布すると、その成虫が産んだ卵は孵化しません。
- ミツバチ、マメコバチに対する影響はありません。

幼虫・成虫に対して効果が高く、即効性のある剤

25A ダニサラバフロアブル
25A スターマイトフロアブル

新規の殺ダニ剤
既存剤に対して感受性の低下したハダニ類に優れた効果!
33 ダニオーテフロアブル

- 各種ハダニ類の全ステージ(卵、幼虫、若虫、成虫)に効果。
- 天敵・有用昆虫への影響が少なくIPM(総合的病害虫管理)に適しています。

●LINE 公式アカウント「営農タイムリー」でも
旬な営農情報を随時発信中!!　登録はこちらから→

2022年度
上半期の事業取組報告

長引く新型コロナウイルス感染症の影響や長期化するウクライナ情勢によって、当組合を取り巻く環境も依然として厳しい状況が続いております。
このような状況下ではありますが都市農業の振興と地域社会への貢献に向け上半期も様々な取組を行いましたので、主な取組についてご報告いたします。

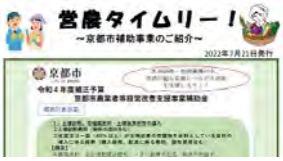
1 儲かる農業の確立

ＪＡ京都市版ＧＡＰのＰＲ資材の見直しなど、本年度の取組事項を協議し、ＧＡＰ承認数の拡大に向けた取組を行いました。ＧＡＰ承認生産者に対しては、ほうれんそう・小カブ・なすなど新たな販売の取扱を開始しました。また、ＬＩＮＥ「営農タイムリー」を活用し、補助金の活用などの農業経営に関する情報発信をしました。さらに、肥料価格高騰対策として、早期共同購入や緊急対策対応により生産資材価格低減取組を行いました。

◇ＪＡ京都市版ＧＡＰ承認者数
１２１ 人 （前年度末 119人）
１ 団体（前年度末 1団体）
４０５ 圃場（前年度末 384圃場）

◇販売実績
２２，４１６ 千円
（前年上期 20,066千円）

◇営農タイムリーを活用した情報発信 ２４ 回（上半期）



◇生産資材価格低減取組
取扱実績 49,460 千円 取価格低減効果 2,473 千円

2 農地保全の取組

耕作放棄地の拡大抑制に向けて耕転受託事業を実施しました。

取組結果
耕耘受託面積
２２４ａ
（前年同期 132ａ）

3 地域貢献に向けた取組

① 「べじべじキッズ」
子育て世代を対象に9月20日から10月2日にかけて、勧修寺観光農園にて芋掘り体験に取り組み、農業学習を展開しました。

② 「レクリエーション農園」
都市型JAの新たなモデルとして、年金受給者を対象に約半年間にわたる農業体験を提供しています。

4 組織基盤の拡充に向けた取組

農業の多様化を踏まえ、地域住民が積極的に協同組合活動に参加出来る体制を進めるため、第1号組合員の増員並びに増資活動を8月・9月に実施し、年間取組目標を達成しました。

第1号組合員	２５４名
出資金	101,610,600 円

5 広報活動の展開

第１号組合員向けに発行している広報誌「いっぷく」に加え、新たに都市農業とＪＡ京都市の理解を深める事を目的に第3号組合員向け広報誌「Link（リンク）」を創刊し、これまで6月・8月・10月の3回発行しました。また、組合のオリジナルソング「みんなの京香さん」を作成し、YouTubeで発信し、組合の認知度向上を図りました。

当JAでは、引き続き組合員や利用者の負託に応えられるよう、自己改革を進めてまいります。

営農経済部からのお知らせ

肥料価格高騰対策のご案内

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料低減に向けて取り組む農業者の皆様の肥料費増加分について、国予算により支援が実施されます。

支援の対象

•農産物の販売を行う農業者（販売農家）
（自家消費のために農作物を栽培する方は対象外）

•令和4年6月から令和5年1月に発注・購入した肥料

肥料法に基づく登録・届出がある肥料のうち、令和4年6月～令和5年1月に発注・購入し、購入農業者自身で使用する肥料に限ります。

※令和5年2月～5月発注・購入分は、国予算の取扱決定後、改めて案内します。

支援の内容

化学肥料低減の取組を行った上で、前年度から増加した肥料費について、その増加分7割を支援金として交付されます。

支援金 ＝ **当年の肥料費** － **当年の肥料費÷価格上昇率÷使用量低減率【国で決定】【0.9】** ×0.7

※京都市等他の補助金を受けている場合は減額又は交付対象外となることがあります。

申請方法

•肥料の購入先によって申請方法が異なります。

① **JA京都市で対象期間内に肥料を発注・購入された方又は発注・購入される方は、「化学肥料低減計画書」を令和5年1月31日までに管轄の本・支店へ提出してください。**
※JAから購入された肥料については、発注・購入したことのわかる書類はJAで作成します（領収書や請求書の提出は不要です）

② 肥料店等から購入された場合の手続きは購入先にご確認下さい。

③ 購入先が対応不可能な場合は、5戸以上のグループで申請が可能です。
詳しくは管轄する京都市各農業振興センターへお問合せ下さい。

•その他不明な点は、管轄のJA京都市本・支店または、管轄する京都市各農業振興センターへお問い合わせください。

▶ 1・2・3月の行事予定

1月

13日㈮	共同購入説明会【WEB開催】
17日㈫	女性部地区役員会【本店】
19日㈭	法律個人相談会【本店】

2月

17日㈮	第64回全国家の光大会【国立京都国際会館】
22日㈬	第72回JA京都府女性大会 2022年度京都府家の光大会【京都JAビル】
28日㈫	2022年度農産物品評会褒賞授与式 青壮年部通常総会【本店】

3月

7日㈫	JA京都市女性部設立70周年記念大会 女性のつどい家の光大会【KBSホール】

※現時点での予定ですので、変更となる場合があります。

クロスワードパズル

二重マスの文字を A〜D の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

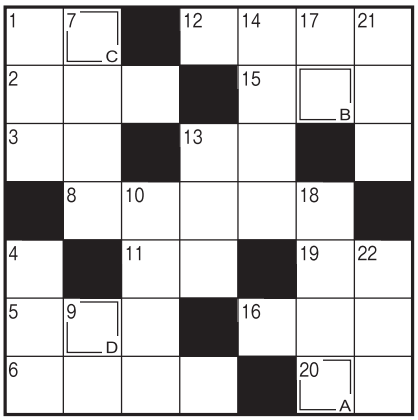
出題○ニコリ

タテのカギ

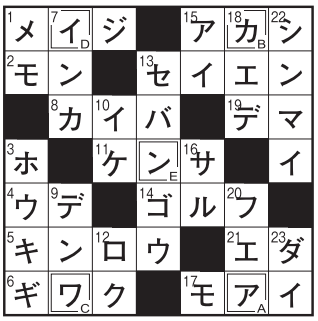
① 初詣で、受験を控える子の難関――を祈願した
④ 2つで1組の――茶わん
⑦ 客のためにワインを選びます
⑨ 師匠の下で学びます
⑩ 親から子へ受け継がれます
⑬ ――・中期・末期
⑭ 年賀状によく書かれる2文字の熟語
⑰ 湖に張った氷に穴を開けて楽しむこともあります
⑱ 登山やキャンプで使う寝袋
㉑ コンコンと鳴く動物
㉒ 警察は原則として――不介入です

ヨコのカギ

① 正月に飲む薬酒。お――気分がなかなか抜けない
② 髪の毛の渦巻き
③ エッフェル塔がある都市
⑤ 練り物やダイコンを煮込んで作ります
⑥ 自分より後に生まれた人はみんなこれ
⑧ 食事の管理や指導を行います
⑪ 昨年はナスの――がとても良かった
⑫ 太鼓や木琴やトライアングルなどのこと
⑬ 毛筆でしたためることも
⑮ 大学入学共通テストは国公立大学だけではなく――大学も利用しています
⑯ 計画のこと。お得な宿泊――
⑲ 京都・三十三間堂の通し矢で新成人が引きます
⑳ ー――、ニタカ、三ナスビ



【解き方】
普通のクロスワードの要領で全部を解いてください。次にA→Dの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。
それが答えです。



『いっぷく』11月号の答え
［アカワイン］

正解者の中から抽選で10名の方に図書カードをプレゼント!

プレゼントの応募方法

（1）郵便はがきまたはメールに、【○クイズの答え○住所○氏名○年齢○電話番号○ご意見・ご感想】をお書きください。

（2）〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24
JA京都市　総務企画部地域振興課「いっぷく」係まで、お送りください。
メールアドレス:tiiki@ja-kyotocity.or.jp
※応募いただきました皆さまの個人情報は、当選者のプレゼント発送のために利用させていただきます。

おたより募集中！

おたよりや、イラスト（絵手紙）を募集中です。
クイズと同じあて先まで、お送りください。
お待ちしています。

締め切りは1月末日

解答は「いっぷく」3月号

今月の星占い ★モナ・カサンドラ★

牡羊座 3/21～4/19
気持ちを引き締め丁寧な所作を心がけて。高めの目標設定が良い運気を呼び込みます。あいさつ回りと宴席にツキ

牡牛座 4/20～5/20
早めのスタートが勢いに乗るこつ。予定は前倒しで進めましょう。伝統文化に触れる機会を大切に。和服も◎

双子座 5/21～6/21
礼儀正しい態度で好感度が上昇。やりたいことがあるときほど周囲の話をよく聞いて。協力者が現れる予感です

蟹座 6/22～7/22
あれこれ言われてキャパオーバーになりがち。全部やろうと思わないで。状況整理から入ると良い案が浮かびます

獅子座 7/23～8/22
運勢は活気づき活躍の場が増えていきます。フットワーク良く動けるよう身軽な状態にしておきましょう

乙女座 8/23～9/22
初心に返り謙虚に、着実に動いていきましょう。大きな実りが期待できます。うれしいニュースを届けてくれる人も

天秤座 9/23～10/23
時間調整の難しいとき。1人で動いた方がストレスは少なそう。共同作業が必要なことは丁寧に説明を

蠍座 10/24～11/22
情報収集に力を入れて。問題解決に近づきます。いつもの作業にも新たな気付きがありそう。清掃や洗濯にツキ

射手座 11/23～12/21
ピンチをチャンスに変える力強さがあります。状況は厳しくても諦めないで。反対意見に耳を傾けると逆転へ

山羊座 12/22～1/19
勢いのある好調運ですが独り善がりにならないように。周りの人のことを思って行動すると好結果に。金運も良好

水瓶座 1/20～2/18
上昇運です。周囲が協力してくれ良い方向に進みます。1人で悩まずに相談を。良い知恵も貸してもらえるはず

魚座 2/19～3/20
自分の意見を少し譲ると思っていた以上にスムーズに進みます。予定や計画も実行しやすいよう手を加えてみて

京のこんだて

ご飯も進む一品です！

菊菜と豆腐のうま煮

●材料（2 人前）

菊菜	1/2 束
絹ごし豆腐	1丁
サラダ油	大さじ 1

●水溶き片栗粉

水	大さじ 1
片栗粉	大さじ 1

(A)

だし	300ml
醤油	大さじ 1
みりん	大さじ 1
オイスターソース	大さじ 1

●作り方

①7mm幅ぐらいに切った菊菜をサラダ油でサッと炒める

②（A）を加え、ひと煮立ちしたら、食べやすい大きさに切った豆腐を加えて煮込む

③水溶き片栗粉でとろみをつけて完成

季節の野菜 ～菊菜～

葉の部分は軟らかく、繊維質が少ないため、サラダにするのがオススメ！

葉先まで緑が鮮やかで香りが強くみずみずしいものが新鮮です。切り口が新鮮で、茎が太すぎないものを。また、指で簡単に折れるくらい軟らかいものが良いです。

SNS で JA 京都市とつながろう!!

二次元コードを読み取ってお友達になっておくれやす♪

LINE 公式アカウント
ID 名：
@ja_kyotoshi

instagram
アカウント名：
ja_kyotoshi

facebook
アカウント名：
JA 京都市

YouTube
「京香ちゃんネル」

いっぷく
−Vol.276− 2023.1
2023年1月1日発行

編集・発行／JA京都市（京都市農業協同組合）総務企画部地域振興課
〒615-0046 京都市右京区西院西溝崎町24　TEL（075）314-0898
https://ja-kyotocity.or.jp